

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	小中学校施設太陽光発電導入事業	会計	一般会計	事業No.	718	施策順No.	57-011
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-2-3-11-10		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			課等名	学校教育課		
施策	57省エネ・新エネ活用の推進			事業期間	開始	22	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	市内の小中学校施設						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	市内の小中学校施設数	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	太陽光発電システムの導入推進							
	対象をどう変えるか	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
					28	28			
		太陽光発電システムの導入推進							
		事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		太陽光発電システム導入済み学校数				4	4	2	A
		太陽光発電システム導入済み学校数/市内全学校数(%)				14	14	21	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	予定通り実施し目標達成が出来た。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 学校は次世代を担う子供たちが学び生活する場であり、学校での体験が子供たちの成長に様々な影響を与えると考えられる</p> <p>2 太陽光発電システムを導入することで、環境教育の実物大の教材となり、それを活用した学習や生活体験が子供たちの環境マインドの向上に大きく寄与するものと期待される</p> <p>3 学校は最も身近な公共施設であり、この事業を行うことで地元地域における環境対策の推進が期待できる</p> <p>4 学校の年間電力需要を節減でき、電気代の削減につながる</p> <p>5 このような新エネルギーの積極的な利用により、CO2の削減に大きく寄与するとともに、地球温暖化対策へ貢献する</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 平成22年度に小学校施設へ太陽光発電システムの導入 (1)小学校4校(丸山小学校、伊賀良小学校、鼎小学校、上郷小学校) (21→22繰越明許費 100,000千円)	太陽光発電導入校	4校
23年度実施計画	1 平成23年度に小学校施設へ太陽光発電システムを導入 (1)小学校2校(座光寺小学校、山本小学校)	太陽光発電導入計画校	2校

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 21→22繰越明許費 100,000千円 (国)地域活性化・公共投資臨時交付金80,000千円 (そ)繰越金15,969千円
	国庫支出金		80,000	80,000		
	県支出金					
	起債				49,400	
	その他			15,969		
一般財源						
			20,000		2,600	
	計 (A)		100,000	95,969	52,000	
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計 (B)			0		
	トータルコスト A+B			95,969		

4 事業に対する市民や議会の意見

飯田市は、環境モデル都市の認定を受けて、低炭素社会の実現に向けて住宅への太陽光発電導入を先駆けて推進しており、この機会に全ての小中学校への太陽光発電導入も積極的に推進していくべきである。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	実施の成果指標又はムトス指標	良好な教育環境の中で児童、生徒が生きる力(知育、徳育、体育)を付けることができる。	良好な環境で授業を受けることができる児童生徒の比率 文科省基準を満たした学校の数(ムトス指標)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り		・環境教育の実物大の教材となり、それを活用した学習や生活体験が図られた。CO2の削減に大きく寄与するとともに、地球温暖化対策へ貢献した。	
	後期に向けた課題		・校舎屋根形状による設置可能の判断に苦慮している。	
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り		・環境教育の更なる推進に努めた。	
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り		・事業実施に関して、屋根塗装、フェンス工事を実施した。	
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り		・特になし。	
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り			
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り		・市単独事業のみの実施は難しい。何らかの補助事業を導入して実施することが望ましい。	
	後期に向けた課題		・市単独事業のみの実施は難しい。何らかの補助事業を導入して実施することが望ましい。校舎屋根に設置する場合の屋根防水処理工事が必要。ほとんどの屋根には南面へ煙突が設置されており、日陰部分避けての設置工事が必要。設置工事費の増大につながる。	

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------